

患者さんへ

「炎症性腸疾患に対する内視鏡検査と内視鏡治療の効果と安全性の検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2008年4月1日から2029年3月31日までに札幌東徳洲会病院で内視鏡検査及び内視鏡治療を受けられた/受けられる、クローン病、潰瘍性大腸炎及びクローン病疑い、潰瘍性大腸炎疑いの患者さん
2 研究目的・方法	内視鏡検査及び内視鏡治療を受けられた/受けられる、クローン病、潰瘍性大腸炎及びクローン病疑い、潰瘍性大腸炎疑いの患者さんを対象として、カルテよりデータを収集し、内視鏡検査及び内視鏡治療の有効性及び安全性を検討することで、より安全で意義のある内視鏡診療の提供をめざすのがこの研究の目的です。 研究の期間: 施設院長許可(2025年1月予定)後~2030年3月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、病歴、内視鏡検査又は治療時における情報、疾患活動性や全身状態の評価に関する情報(血液検査、画像検査結果など)、副作用等の発生状況、嗜好に関する情報(喫煙歴、飲酒歴など)等
5 個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
6 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 研究責任者: 札幌東徳洲会病院 IBDセンター 伊藤 貴博 住所: 札幌市東区北33条東14丁目3番1号 電話番号: 011-722-1110 (代表)